

2015年度音楽助成金事業 採択事業一覧

(公財)日本音楽財団

No	事業名	団体	事業内容	実施時期 場 所	事業費総額 (円)	助成予定額 (円)
1	オーケストラの日2016	(公財)日本オーケストラ連盟	オーケストラを身近に沢山の人々に聴いて楽しんでもらうために2007年に始まった企画。今年 は10年目になる。オーケストラ連盟に加盟しているオーケストラが全国各地で3月31日を中心 にその前後で様々な事業を展開。参加オーケストラ30団体が家族、子供、一般向けのコン サート、練習見学、交流イベント、ワークショップなどを開催する。首都圏、関西地区では各オー ケストラの楽員が特別の大オーケストラを編成して合同演奏会を実施する。 東京で開催している「オーケストラの日」公演は、日本オーケストラ連盟の長年の活動により培 われた集客力により、毎年ほぼ満席となっている。今までに4回支援しているが、2013年、2014 年度は、当財団の楽器貸与者がソリストとして演奏している。	2016年3月31日(日) 文京シビックホール(1802席)	7,680,000	1,800,000
2	ヴィオラスペース2015 vol.24 第3回東京国際ヴィオラコンク ール	東京国際ヴィオラコンクール 実行委員会	1992年ヴィオラ奏者の今井信子氏の提唱によりヴィオラ音楽の祭典「ヴィオラスペース」が誕 生し、若手のためのマスタークラスやコンサートを毎年開催してきており、その活動の一環とし て、「東京国際ヴィオラコンクール」が2009年に創設された。アジア唯一の国際的なヴィオラ単 独のコンクール。3年に一度開催。賞金は、1位100万円、2位60万円、3位30万円、その他特 別賞。コンクール入賞者には、翌年以降のヴィオラスペースへの出演が約束される。 審査委員は、今井信子氏、パリ国立高等音楽院教授アントワン・タメスティ氏、ミュンヘン音楽 大学教授ハリオルフ・シュルヒティヒ氏、カーティス音楽院教授パメラ・フランク氏、東京藝術大 学教授 野平一郎氏)	コンクール開催期間: 5月30日(土)～ 6月13日(土) 上野学園 石橋メモリアルホール (508席)	37,000,000	2,000,000
3	Krzyzowa-Music Workshop with Junior Musicians	Krzyzowa-Music	Krzyzowa-Musicは当財団が1999年～2012年まで楽器を貸与していたViviane Hagnerが Artistic Directorを務める団体(本年1月に設立)。“Youth Excellence 対 World-Class Musicians” と銘打ち、21名のプロの演奏家(現貸与者Veronika Eberle、元貸与者 榎本 大進含む)と選ばれた20名の若手の演奏家が寝食を共にし、プロの演奏家は時には講師、時 には演奏のパートナーとなり、一方的に教えるだけでなく世代を超えたそれぞれの経験、アイデ アを共有しあう。9月1日からはドイツ・ベルリンでツアーを行う。	2015年8月15日(土)～ 9月6日(日) Kreisau Circle Krzyzowa, ポーランド	EUR55,935 約7,383,420*	EUR10,000 約1,320,000*
* 1EUR=132円					助成額合計	5,120,000